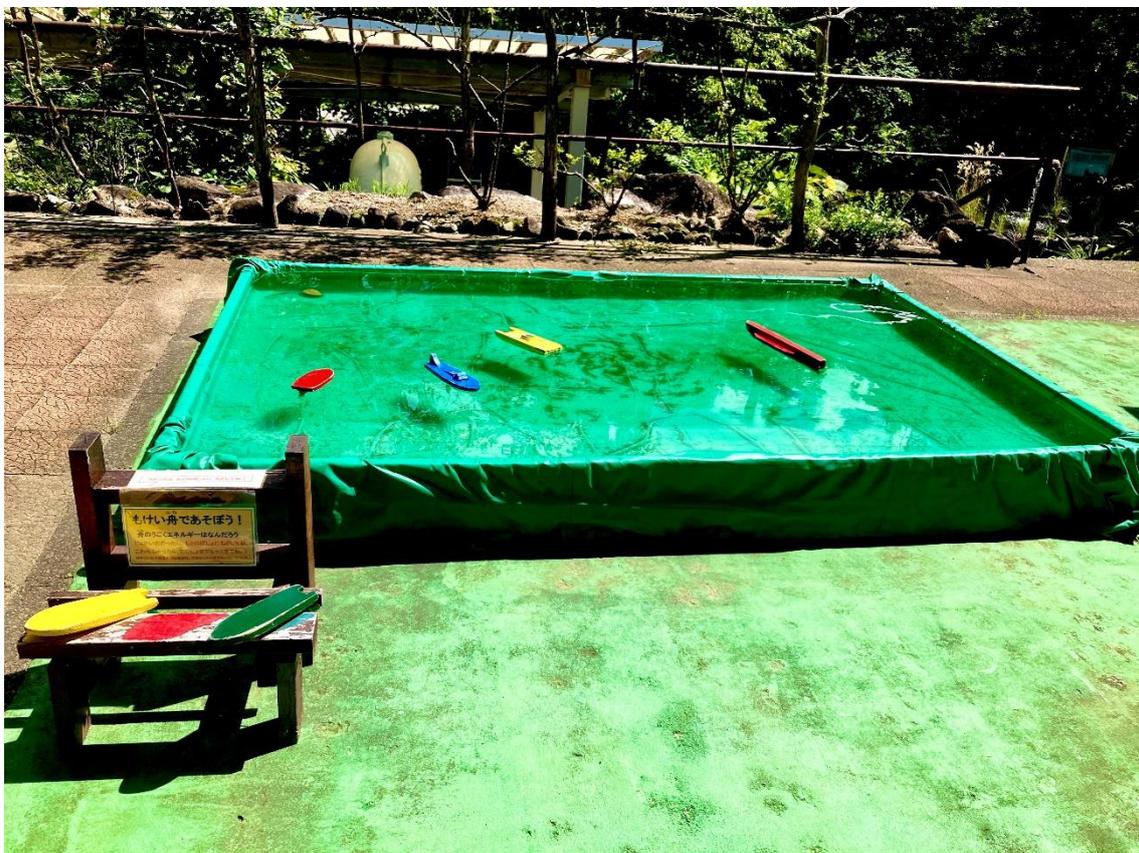


模型船のプール



***遊んでみよう！！**

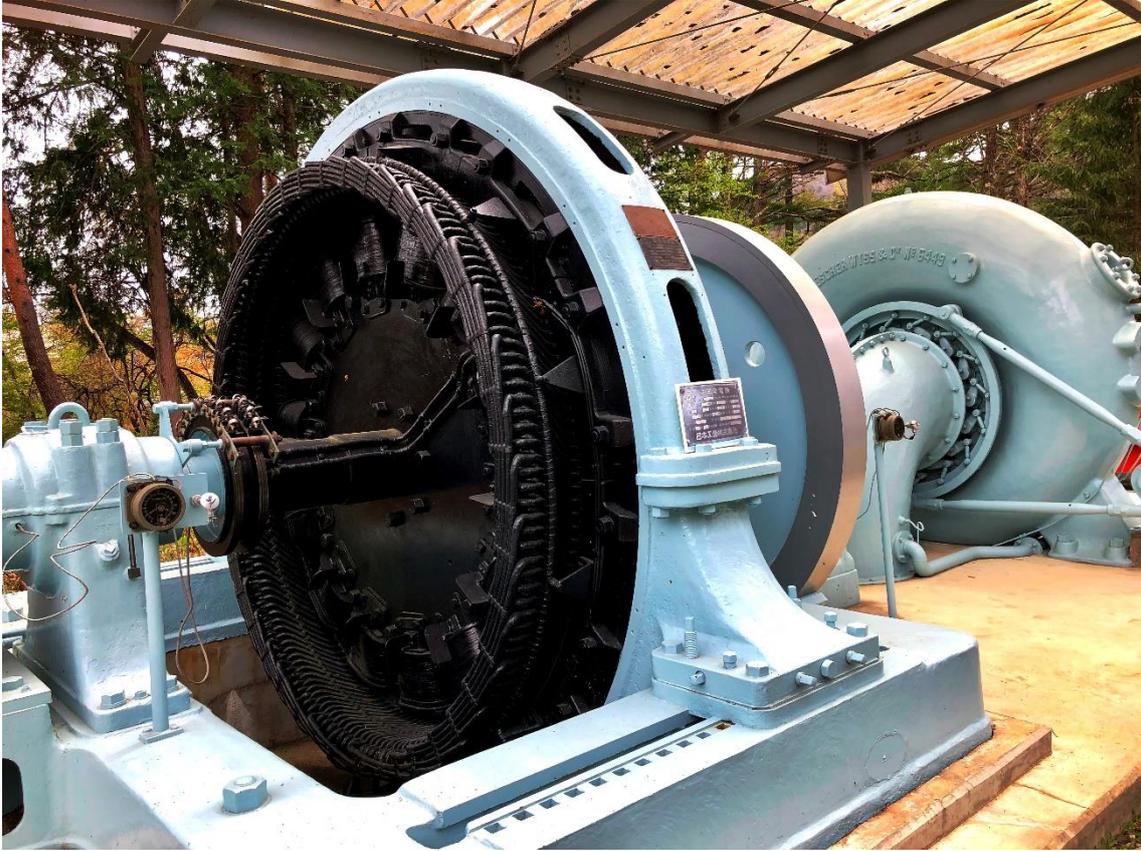
プール横に置いてある船を使って遊んでみましょう！

***考えてみよう！！**

船の進み方の違いはどのように生まれるのでしょうか？

船が動くのはどうしてでしょうか？

横軸水車・発電機(高瀬川)



*展示について

大正 11 年、高瀬川第一発電所に設置されたのがこの水車・発電機で、これらによってできた電力が高瀬川第二～第五発電所建設の動力となりました。

当時の日本の技術では水車や発電機を作ることができなかったため、発電には外国社製の機械を使用していました。水車はスイスのエッシャ・ウィス社製、発電機はアメリカのウェティング・ハウス社製です。

横軸水車・発電機(栃木)



*展示について

大正 5 年～昭和 54 年までの 63 年間、栃木県大谷川の東京電力所野発電所で使用されていた水車・発電機です。

国産で現存する最古の水車・発電機一式です。

フランス水車ランナー



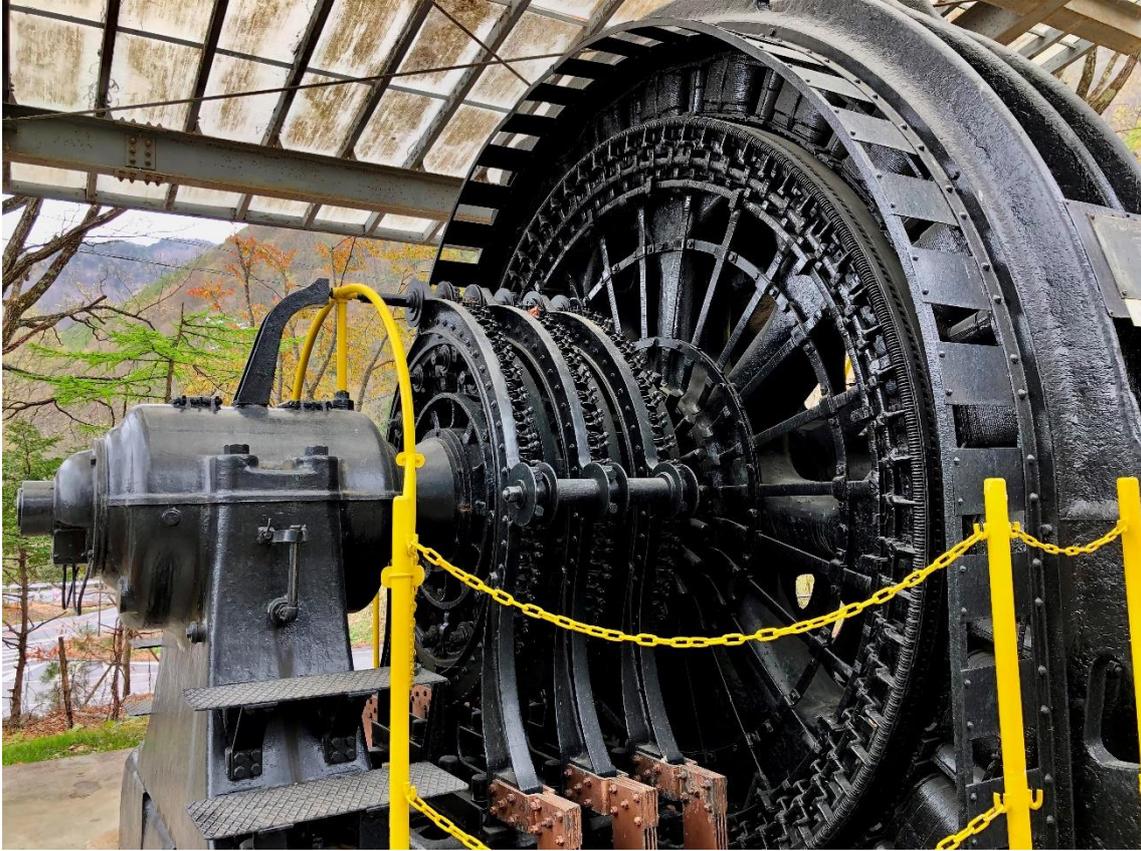
*展示について

水車とは、水の持つエネルギーを動力に変える装置のことで、水の圧力を受けて回転するランナーは水車の心臓部とも言えます。

フランス水車は水の圧力と速度をランナーに作用させる構造の水車で、日本の水力発電所の約7割で使用されています。

この水車ランナーは、東京電力安曇発電所で使用されていたものです。

回転変流機



*展示について

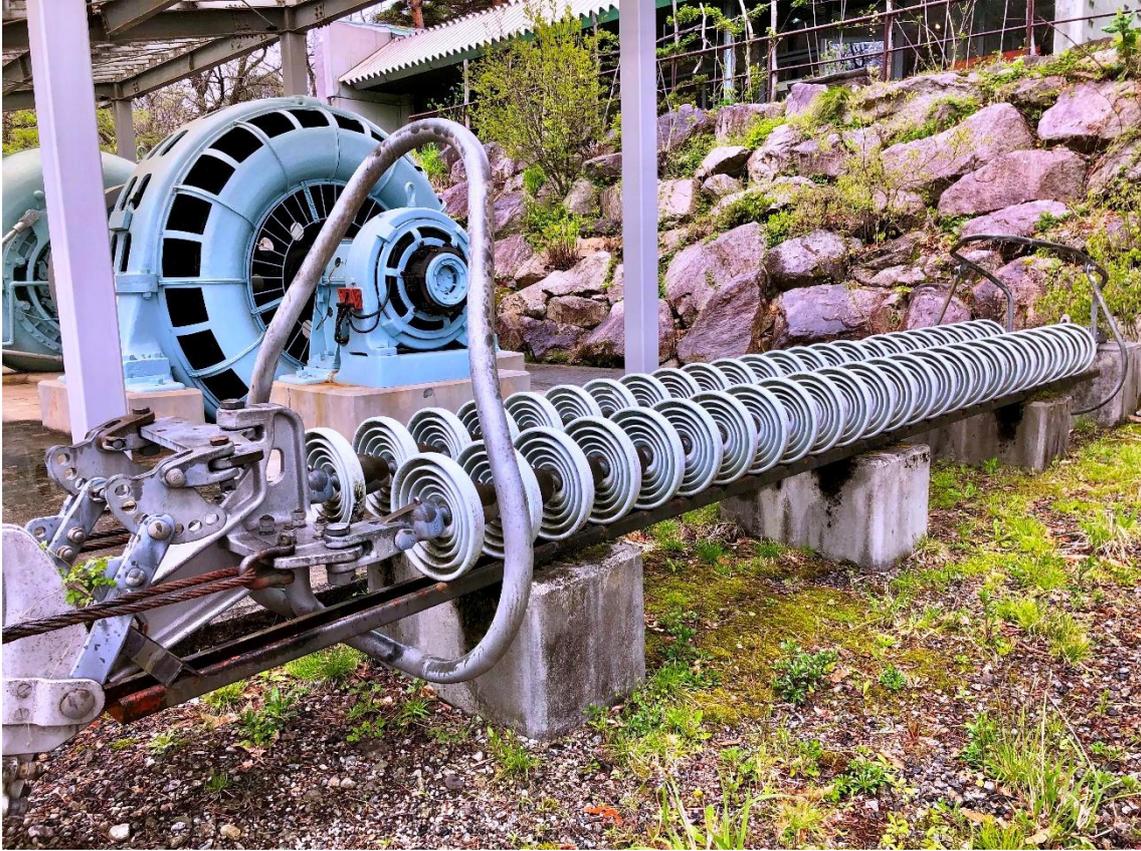
交流電流から直流電流を得るための機械で、純国産の変流機です。

昭和肥料(株)(現在の昭和電工(株))川崎工場→大町市→川崎工場の順に使用され、

大町市では日本初のアルミニウム生産のために大きな役割を果たしました。

国産技術開発の先駆けとなった機械の一つで、日本の工業技術発達を示す貴重なシンボルです。

50万ボルト送電線用碍子装置



*展示について

電気を大量に遠くへ送るためには送電線が必要です。碍子(がいし)装置は、送電線を大地から絶縁するために鉄塔に固定します。

一般に、使用する電圧や電線の太さによって、碍子装置が変わります。

近くで見るととても大きいですね！！

コンクリートバケット



*展示について

黒部ダム建設の際に使われたコンクリートバケットです。黒部ダム建設で使われたコンクリートは、このバケットによって運ばれました。

バケット内に付いているコンクリートは、黒部ダム建設で使われたコンクリートと同じものです。なんだかワクワクしますね！！

太陽光発電による噴水



*展示について

中央の噴水は、天気によって噴水の高さが変わるようになっています。

また、水車を回して発電も行っております。

薪バス「もくちゃん」



*展示について

太平洋戦争中～戦後にかけて、不足したガソリンの代わりに薪・木炭・石炭等の代替燃料が使用され、こうした燃料を使って走る自動車も使用されていました。

当館の薪バス「もくちゃん」の後ろに設置されているガス発生炉は、大町市の田之尻代燃製作所で製作されたものです。

なお、現在もくちゃんはガソリンでの走行となっております。

高床式あずまや



*展示について

おやつを食べるもよし、ポーっと川のせせらぎに耳を澄ませるもよし…

いつもより少し高いところで、自然を感じるひと時を過ごしてみるのはいかが

でしょうか？

湯道の石仏



*展示について

博物館敷地内の石仏群は、高瀬溪谷にある葛温泉まで行く小径(湯道)に安置されていた石仏の一部です。湯道の安全を祈る庶民の心の現れであり、道しるべともされていました。

また、湯道一帯に自生していたシャクナゲも博物館の庭に移植されており、春にはきれいな花を咲かせます。

博物館の庭には何体の石仏が安置されているでしょうか？

散策して石仏を探してみるのもおすすめです。